

学校教育目標

○徳・知・体の調和のとれた生きる力をもつ児童の育成

目指す児童像 〈具体目標〉

◎思いあえる子

- ・進んであいさつする。
- ・友達のよさに気づき仲良く遊ぶ。
- ・相手の気持ちを考えた行動をする。

- ・あいさつ、返事の励行
- ・秩序と温かさのある学級経営
- ・児童の自主的、自治的な活動の充実
- ・道徳教育の充実
- ・「思いやりの木」の活動推進
- ・いじめや差別の根絶

◎学びあえる子

- ・学習の準備をし、学習ルールを守る。
- ・疑問や問題の解決に向け、進んで調べたり考えたりする。
- ・読書に親しみ、家庭学習を毎

- ・学習ルールの確立
- ・家庭学習習慣の育成
- ・指導法の改善、個に応じたきめ細かな指導の推進、ICTの活用
- ・学ぶ楽しさと分かったと実感のもてる授業づくり
- ・読書指導の充実

◎高めあえる子

- ・きまりを守り、明るく元気に生活する。
- ・清掃活動に真剣に取り組む。
- ・運動に親しみ、進んで身体を鍛える。

- ・規則正しい生活習慣の形成
- ・計画的・継続的な安全指導
- ・清掃活動の充実
- ・教科体育と体育的行事との関連を図った体力づくり
- ・保健・衛生に関する理解の深化と実践

学校運営協議会

学校経営方針

- ①児童が安心して学校へ通い、生き生きと活動できる安全な環境づくりをする。
- ②全職員の和を大切にしながら、教職員一人一人の参画意識の高揚と組織力の強化を図る。
- ③コミュニティ・スクールとして家庭や地域と連携・協働し、社会に開かれた教育課程を実現する。
- ④学力向上に向けた組織的・継続的な取組の充実と教職員の専門性やICTを効果的に活用した質の高い授業づくりをする。
- ⑤全教職員の共通理解と関係機関との連携により一人一人に応じたきめ細かな指導・支援をする。
- ⑥温かい人間関係を基盤とし互いに認め合い、大切にできる学校づくりをする。

○信頼される学校

- ・児童一人一人が、毎日喜んで登校する学校（明るい学校、明るい学級、明るい職場）
- ・児童一人一人が、生き生きと活動し、授業が真剣に行われている学校
- ・全職員が、積極的に学校経営に参画し、日々充実感の得られる学校

一人一人に応じたきめ細かな指導・支援

- ①「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」特別支援教育の充実
- ②居心地のよい居場所づくりによる不登校の未然防止
- ③いじめ、不登校、自殺予防、虐待等の諸課題への組織的な対応
 - ・SC、SSW等を交えた校内のチーム支援
 - ・市子ども課、児童相談所、警察、学童保育、民生委員、民生児童委員、医療機関等との連携
- ④「SOSの出し方教育」の実施

安全・安心な学びの環境づくり

- ①「自分の命は自分で守る」を踏まえ、子どもの命と心に敏感に反応する指導体制
「第1に命 2人権 3教育効果」
- ②防災訓練の推進
 - ・避難訓練・交通安全指導・不審者対策の充実・緊急時の引き渡し訓練・防災対応マニュアルの周知徹底
 - ・地域や関係機関との連携（磯部地区安全・安心まちづくりネットワーク等）
- ③いじめ問題への組織的な取組
 - ・生徒指導推進委員会や教育相談部会を中心とした未然防止、早期発見、早期対応、経過観察等
 - 「相談しやすい環境の整備」

家庭や地域とともにある学校づくり

- ①地域を愛する気持ちを育てる
- ②教育力の活用
 - ・PTA、育成会、敬老会、公民館、ボランティア等
- ③家庭との連携
 - ・授業参観、学校の各種便り活用
 - ・緊急メール、タブレット配信
 - ・家庭学習の手引き、教育相談
- ④幼小中の連携
 - ・いそべこども園、原市小学校、第二中学校等

和を大切にした学校運営 ～互いに高め合う職員集団～

- ①子どものために学び続け、広い視野で子どもを育てる。（校内研修、OJT、自己啓発、職能成長）
- ②工夫・改善の視点を学校経営に反映し、教職員相互に高め合う。
- ③自分の持ち味やよさを発揮しながら組織で職場を活性化する。
- ④働き方改革に向けた教職員の意識改革と業務改善（ワーク・ライフバランス、メンタルヘルス）